

錦秀会インフュージョンクリニックを受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を行っています。
本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

研究課題名 (受付番号/承認番号)	インフリキシマブ倍量投与のクローン病患者の減量に関する検討 (観察研究)(No.)
当院の研究責任者 (所属・職位)	有光晶子(医療法人錦秀会インフュージョンクリニック 医長)
他の研究機関および 各施設の研究責任者	伊藤裕章(医療法人錦秀会インフュージョンクリニック 院長)
本研究の目的	インフリキシマブ(以下 IFX、商品名;レミケード)の治療効果の減弱に対し IFX 倍量投与が有効であった場合、悪化を危惧しその後も倍量での維持投与を継続していることは多いです。しかし、実際は通常量 8 週投与に戻しても寛解維持できる患者様もおられるのではないかと、という観点から、倍量投与例の通常量投与への減量について検討します。
調査データ 該当期間	2017 年 5 月 22 日から 2022 年 5 月 21 日までの情報を調査対象とする
研究の方法 (使用する試料等)	<ul style="list-style-type: none">●対象となる患者さま 当院にて1年以上 IFX 倍量投与を継続中の患者さま。●方法 インフォームドコンセント後、いったん投与量を通常量に減量し経過観察する。通常量かつ 8 週間隔投与を少なくとも3回以上継続できた患者の方々と、症状や CRP、あるいは内視鏡で増悪や非寛解が確認され、通常量では不十分な判断で治療強化を行った患者の方々と、2つのグループの患者背景について比較検討を行います。減量後 12 カ月、18 カ月、24 カ月など、長期経過を追います。●利用する情報 電子カルテに記載のある診療記録、検査データを利用する
試料/情報の 他の研究機関への 提供	他の機関への試料・情報の提供はありません。
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません
お問い合わせ先	所属・職位: 錦秀会インフュージョンクリニック 医長 担 当 者: 有光 晶子(アリミツ ショウコ) 電 話: 06-6359-2123
備考	